

こだまのもり劇場

— いやしの里（別名「こだまのもり」）建設物語 —

ここはもともと小高い森であったところを切りひらいて作りました。私たちは、この敷地に建物をつくるにあたり、まず切りひらく前の森の精を敬い、森を再生した空間を創ろうと、設計のコンセプトとしてこの施設を「木霊（こだま）の杜（もり）」と名づけました。

この建物のメインロビーはその木立を再現した「杜（もり）」空間としています。



第1幕



ここは昔森でした。里山でした。
おじい、おばあ、みんなで幸せに暮らしていました。



おじい おばあ ぼくたち おみこ



ある時、この森を切り拓くことになりました。
ここに建物がたつことになったのです。
ぼくたちはどうしたらいいのでしょうか…

